



医療崩壊への提言

医療法人社団吉徳会 あさぎり病院 会長

藤原 りつ子 ● ふじわら・りつこ



全国各地で医師不足による医療崩壊が進んでいます。一般の方にはあまり知られていませんが、医師不足は主に病院に勤務する医師の減少によるものです。病院の勤務医は朝の病棟回診に始まり、外来、手術、検査、処置、当直、休日出勤、そして、電子カルテの記載、また書類作成などの雑用も含め、毎日莫大な仕事量をこなし、さらに週末には学会に参加して新しい知識を習得せねばなりません。そして医師が一番つらいのは患者からの過度の要求、心ない言葉であり、医療訴訟に対する不安です。このような状況のため、医師は疲れきって病院から立ち去っていくのです。

そこで私はここにいくつかの提言をしたいと思います。選挙の公約にもなっているように国の施策としてまず医師数を大幅に増やすことが必要ですが、単に医師数を増やただけでは現在の医療崩壊の問題は解決しません。病院は医師以外のコメディカル（医師、看護師以外の医療従事者）と事務作業を行う医療秘書を大幅に増やし、医師が本来の医師でなければならない仕事だけに専念できる環境を作る必要があります。現状の安価な保険点数では病院にとって経済的に難しいのが実情ですが、当院では多くのコメディカ

ルと医療秘書の活用をすでに実施しています。次に病院常勤医への待遇改善が肝要です。医師が忙しい医療の現場と新しい知識を得るための勉強を両立することができ、そして人並みの休暇をとることができる環境を作らねばなりません。

そして、患者さん方には是非お願いしたいのは、すべての病気が治るわけではないということ、そして治らない場合に医師が悪いと考えないでいただきたいということです。最近セカンドオピニオンが常用化され、医師を信用しない風潮がありますが、治療を進めていく上で、やはり患者と医師は互いに心から信頼し合うことが大切であると思います。

さて、今年もあさぎり病院では恒例の文化祭として第17回「夢祭り」を11月4日から7日まで開催いたします。地域の皆様や患者さん方に病院を楽しんでいただけるように、スポーツ、音楽、ヨガ、無料健康相談、無料健診、医療の講演会を行う予定です。あさぎり病院は医療崩壊という厳しい現状と正面から向き合い、また地域に開かれた病院として絶えず前進してまいります。今後ともご支援をよろしくお願いいたします。ぜひ「夢祭り」にもご参加ください。

理 念

－ 人にやさしい医療を目指して －

1. 吉徳会は、患者様が尊厳ある人生を送ることができるよう、安全な医療サービスを提供する使命があると考えています。
2. 吉徳会は、患者様中心の医療、保健、福祉を快適に受けられる場所でなければならないと考えています。
3. 吉徳会は、たえず医療水準の向上に努め、職員の各人が誇りと責任を持って働ける職場でなければならないと考えています。



新型インフルエンザ はこうして対処しましょう

副院長 ICD(感染制御医)

三村 治 ● みむら・おさむ

ご存知のとおり、5月から6月に神戸市および明石市などで蔓延した新型インフルエンザはいったん終息したかのように見えたが、8月から全国的に猛威をふるい、基礎疾患のある患者さんが死亡されたり、また学校行事などへの影響が出ています。行政からの広報紙や新聞記事から必要な情報を得て、冷静に対応してください。以下にQ&Aでポイントをまとめましたが、不明な点は保健所にお問い合わせください。

Q 新型インフルエンザは、検査で診断できますか？

A 医療機関で行っている簡易検査で新型インフルエンザを正しく診断できる割合は50%前後と低いため、結果が陰性であっても新型インフルエンザである可能性が高く注意が必要です。そのため、最近では症状だけで診断し治療を開始することになりました。

Q 新型インフルエンザに感染すると重症になるのですか？

A いいえ、ほとんどの方が軽症で回復しています。ただし、持病がある方のなかには重症化するリスクが高い方がいます。次の持病がある方は、手洗いの励行、うがい、人混みを避けるなどして感染しないように注意してください。

●慢性呼吸器疾患 ●慢性心疾患 ●糖尿病などの代謝性疾患 ●腎機能障害 ●ステロイド内服などによる免疫機能不全
さらに、次に該当する方々についても、インフルエンザが重症化することがあると報告されています。

●妊婦 ●幼児 ●高齢者



Q 病院に行くことにしました。どこの病院を受診すればよいのでしょうか？

A 9月15日の明石市広報『あかし』あるいは神戸市の広報紙に受診方法が書かれています。大切なことは、**病院を直接受診せずに、受診可能医療機関を確認して電話連絡してから受診することです。**受診可能医療機関がわからない方は、保健所にお問い合わせください。**あさぎり病院は妊婦さんへの感染拡大を防ぐため、受診可能医療機関ではありません。**

Q 自宅で療養しています。家族が同居しているのですがどのような注意が必要ですか？

A 同居している家族への感染を確実に予防することは困難です。ただし、なるべく感染しないように、以下のことを心がけてください。

患者であるあなたは

●咳エチケットを守りましょう ●手をこまめに洗いましょう ●処方されたお薬は指示通りに最後まで飲みましょう ●水分補給と十分な睡眠を心がけましょう

患者の同居者は

●患者の看護をした後など、手をこまめに洗いましょう ●可能なら患者と別の部屋で過ごしましょう ●マスクの感染予防効果は限定的ですが、患者と接するときにはなるべくマスクを着用しましょう

※患者の使用した食器類や衣類は、通常の洗濯・洗浄及び乾燥で消毒できます。

出産に関わる制度が改正しました！

医事課 係長

鳥居 大輔 ● とりい・だいすけ

平成21年10月1日から出産に関わる制度が改正されました(平成23年3月末まで)。このたび改正された2点について、ご紹介いたします。

1. 出産育児一時金が4万円アップ

出産育児一時金が4万円増額されました。平成21年1月より産科医療補償制度がはじまり、出産育児一時金等の支給額が35万円から38万円に引き上げられましたが、さ

らに平成21年10月から緊急少子化対策の一環として4万円引き上げられ42万円が支給されることになりました。

2. 『直接支払制度』が開始

『直接支払制度』が始まりました。直接支払制度とは、出産育児一時金の額を上限として、保険者から支払機関を通じて分娩機関へ出産費用を支払う制度です。従来は、患者様が窓口で出産費用を支払い、後日保険者へ出産育児一時金を請求するという手続きでしたが、本制度の導入により、患者様は窓口での支払いが出産育児一時金を超える額だけですむようになりました。

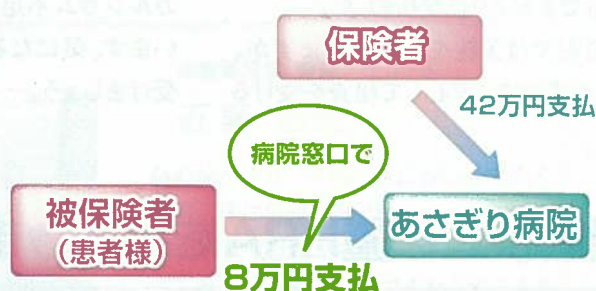
例えば

出産費用総額50万円の場合、右図に示すように出産育児一時金42万円の差額の8万円を病院窓口にお支払いいただき、あとの42万円は保険者から直接あさぎり病院に支払われます。

$$\begin{array}{rcc} 50\text{万円} & - & 42\text{万円} & = & 8\text{万円} \\ \text{(分娩費)} & & \text{(出産一時金)} & & \text{(窓口負担額)} \end{array}$$

出産育児一時金の受給対象者は、各種健康保険の被保険者(社会保険ではその被扶養者含む)に限られます。病

例) 出産費が50万円の場合(平成21年10月から)



院は患者様の加入保険者に正確に請求を行わなければなりません。そのため、入退院時に必ず保険証の確認を行い、患者様には分娩時点で「～健康保険」の被保険者(またはその被扶養者)である旨の誓約文書にご署名をいただいております。ご協力をお願いいたします。

ご不明な点がございましたら、1階総合受付にお気軽にお声がけください。

あさぎりこどもクリニック

開院から3ヶ月目を迎えるにあたって

あさぎりこどもクリニック 院長

吉形 真由美 ● よしかた・まゆみ

8月3日より診療を開始して早2ヶ月が経過しました。まずこの場をお借りして、開院にご協力いただきました皆さまには心よりお礼申し上げます。この2ヶ月間は、不慣れなことが原因で患者様にご迷惑をおかけしないよう、スタッフ全員が協力しながら全力で診療に取り組み、おかげ様で大きなトラブルなく診療を行うことができました。8月はのべ660名、9月は762名の方がクリニックに来院されており、地域の方々にもクリニックの存在が浸透しつつあることを実感しております。

患者様からは建物がかわいい、親しみやすいなどのうれしいお声とともに、待ち時間が長いなどのお声もいただいております。予防接種・乳児健診の時間帯は特に、短時間に患者様が集中するため待ち時間が長く、患者様や付き添いのご家族にご迷惑をおかけしておりますが、できる限り待ち時間が少なくできるよう努めて参りたいと思います。



地域に貢献できるクリニックとして皆さまに信頼していただけますようスタッフ一同、今後もいっそう努力して参りますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

新医療機器導入

骨密度測定装置の新機種を導入

9月から骨密度測定装置が新しくなりました。骨密度測定装置では、骨密度(骨の丈夫さ、硬さ)を知ることができます。今回導入した装置での測定時間は、わずか約15秒程度(前回の装置は約3分)、椅子に腰掛けて手首を装置に置いていただくだけで手軽に検査ができます。痛みなどはありません。得られた測定値を性別・年齢の標準値と比較しますが、結果もたいへん見やすく、前回との比較もグラフ化によってわかりやすく表示できるようになりました。

測定ではX線を用いていますが、ごくわずかで、安心して検査を受ける

ことができます。骨粗鬆症(こつしょうしょう)の早期発見、予防に効果的です。

骨粗鬆症とは、骨密度が低下し、骨の内部がスカスカになって、骨が弱くなってしま病気です。骨粗鬆症になると、骨が痛んだり、曲がったり、転んただけで骨折してしまうこともあります。骨粗鬆症の原因は、カルシウム不足や骨の新陳代謝が衰えることです。一般的に、高齢者、閉経後の女性、やせている人、運動不足の人、カルシウム不足の人に多いとされています。気になる方は早めに検査を受けましょう。

放射線室 室長

土井 真一 ● といしんいち

総合診療科 内科系診療部長

和田 謙 ● わだけん



図1 腕を入れるだけで素早く測定

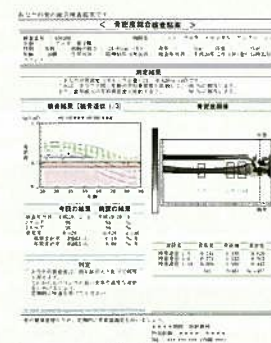


図2 わかりやすい検査結果

眼底検査装置HRAを導入しました

当院ではこのたび、眼底検査装置HRA(図1)を導入いたしました。よく眼はカメラに例えられますが、カメラのフィルムにあたる網膜、その網膜を裏打ちする脈絡膜にはたくさんの血管が走っており、栄養を供給しています。HRAは血管に色をつけるための薬(造影剤)を腕から注射しながら眼底を撮影し、眼内の血管の病気を検出するための最新型の装置です。当院で従来使用していた蛍光眼底カメラと比較すると、画質が大幅に向上しました。特に従来の蛍光眼底カメラですと網膜に邪魔されて見えにくかった脈絡膜血管の様子を鮮明に撮影できます。また、2種類の造影剤を同時に流しながら眼底を高速で撮影できるため、検査時間も短縮されました。

脈絡膜から悪い血管が生えて網膜を傷らし視力が大幅に低下する

「加齢黄斑変性症」という病気が近年わが国でも増加しつつあります。当院でも多数の加齢黄斑変性症の患者様が受診し、治療を受けておられます。加齢黄斑変性にはいくつかのタイプがあり予後や治療方針がそれぞれ異なるため、適切な治療を行うにはいろいろな検査を施行し診断を下す必要があります。現在、治療のタイミングの判断は蛍光眼底装置で血管異常の位置や形を撮影した画像(図2a)と眼底の凹凸を特殊なカメラを用いて断面で撮影した画像(図2b)を比較して行います。このたびのHRAの導入により、眼に見えないほど細かな血管の異常をとらえることが可能となりました。

今後、この機器を診断・治療に活用し、地域

の皆様の眼の健康に貢献できるものと考えております。



図1 HRAの概観

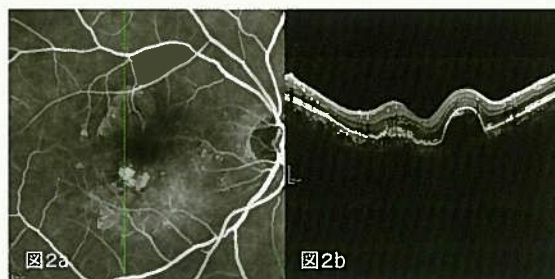


図2 HRAを用いて撮影した蛍光眼底造影写真(a)と眼底の凹凸の断面像(b)

第5回サロン・デュ・アザステを開催して

視覚障害者を対象として行っている院内サロン「サロン・デュ・アザステ」を9月10日に行いました。視覚障害は言葉で表現することが難しく周囲の理解が得られにくいので、医療関係者や親しい人に視覚障害について話したくても話せないことがよくあると思います。当院の院内サロンは視覚障害を患うことによって起こるさまざまな心理的な問題を軽減することを目的としています。院内サロンではフルートコンサート、視覚障害者数名と医療スタッフでグループとなり悩み事や疑問について話すフリートーク、眼に関する講演会等を行っています。

当院の院内サロンは今回で第5回目を迎えました。参加者の中には大阪や丹波

から来院された方もおり、徐々に広域に認知されつつあるようです。特別講演として日本のロービジョンケアにおける第一人者である北九州療育センターの高橋広先生をお招きして、「みんなでつくるロービジョンケア」についてお話をいただきました。興味深い話題が多く、ロービジョンケアを発展させるためには提供する医療スタッフのみならず視覚障害者自身が声をあげていかなければいけないこと等、参加者全員がそれぞれ今後考えて実践していくべきことを教えていただきました。

院内サロンのアンケート結果は好評で参加者の要望もあり、今後も継続して取り組んでいきたいと思っています。近隣の医

眼科 診療副部長

穴田 克己 ● ししだ・かつみ

療関係者の方も講演への参加は大歓迎です。次回は来年1月末の開催を予定していますが、詳細については12月ごろに院内掲示やあさぎり病院ホームページでお知らせします。完全予約制ですので参加を希望される方は当院眼科外来までご一報ください。



健康教室を終えて

10月1日に2F多目的ホールにおいて健康教室を開催しました。今回は薬剤師と管理栄養士による2部構成で、「油(脂)」をテーマとした内容でした。薬剤師からは脂質異常症の薬についてでしたが複数の種類を紹介していただき、薬を飲んでから血中のLDL(悪玉)コレステロールや中性脂肪を正常値に近づける仕組みがそれぞれの薬で異なるこ



とを詳しく話していただきました。

私、管理栄養士からは食品の油の種類や体への影響についてお話をしました。

栄養管理室 室長

近藤 恭弘 ● こんどう・やすひろ

魚の油やオリーブ油は体に良い油である一方、体に負担をかける悪い油もあり、現代人は残念ながらそのような油を口にする機会の方が多いのでそれらをできるだけ摂らないような対策もお話しました。質疑応答も活発で参加者の皆さまに満足していただける内容であったと思います。次回は運動をテーマにした内容を11月中に開催する予定です。

「母親学級」に使用するDVDを作成しました！

当院の分娩件数は年々増加しており、平成16年からは年間1000件を超えています。当院では妊娠中期から後期の妊婦を対象に、「母親学級」を開催しています。

母親学級の目的は、妊娠中から出産、産後の体の変化や必要な知識を学ぶことにより、妊産婦の不安を軽減することにあります。私たちは、その不安を軽減することができるよう看護研究を通して取り組み、妊婦の要望に応じた当院独自のわかりやすい視聴覚教材を作成いたしました。

昨年度は、「陣痛開始から入院まで」を、本年度は「入院後～出産まで」の様子をまとめたDVDを作成し、母親教室で放映しています。

受講者の感想は、「ビデオを見て出産を乗り切る勇気が出た」「イメージトレーニングができて良かった」など好評です。母親学級で使用するパンフレットも新しく作成し直し、なお一層充実した内容になっています。

本年度から、あさぎりこどもクリニックと併せて多目的ホールも開設されました。このホールを利用して、今後は母親

2階病棟 助産師

山田 恵美子 ● やまだ・えみこ

三谷 育美 ● みたに・いくみ



学級を妊娠前期・後期に分けて開催する予定です。母親学級を通して地域のお母さん方のコミュニケーションや連携もお手伝いできたらと考えています。

部署だより 3階病棟

患者様に寄り添った看護を目指して

3階病棟は、内科・外科を含めた総合診療科と、眼科の両チーム合わせて49床の病棟（7：1 入院基本料を算定）です。人に優しい看護を目指し、患者様の健康へのお手伝いと、快適な入院生活を送れるよう、また、より良い看護の提供を目指し、医師やご家族を含め、患者様との架け橋となれるよう日々努力しています。



3階病棟 師長

大垣 理恵 ● おおがき・りえ

総合診療科

内科と外科の混合病棟であり、急性期病棟として、内科的には、肺炎、脳梗塞、イレウスなど、また糖尿病コントロールやポリペクチミーを含む消化器疾患の治療、外科的には消化管手術や、静脈瘤の治療である硬化療法・高位結紮術などの治療を主に行っています。

介護的要素が必要となる方の入院もあ

り、談笑しながらの食事介助やサンルームにて会話を楽しむといった和やかなムードの部分もあります。褥瘡発生率は0%を保っており、毎日の看護師による保清を含めたケアの充実や高性能なエアマットを使用し今後も保てるよう努力していきます。

(3階病棟看護師 紀田 司)



サンルーム

眼科

主に、白内障・網膜硝子体疾患の手術目的の患者様が多く、毎月約100名前後の患者様の看護を行っています。他院から紹介をいただくことも多く、緊急入院・手術にも対応しており、手術の際にはできるだけ患者様が安心して手術が受けられるよう心がけています。病棟には入院患者様専用の眼科診察室があり、毎朝この診察室で診察が行われています。病棟で診察を行うことにより患者様の移動距離を短縮でき、患者様

の負担が軽減されるとともに、看護師も診察に付き添うことで、迅速に情報をキャッチした看護が可能となっています。

退院後の生活に不安を抱えている患者様も多いので、退院前には今後の生活指導を丁寧に行うよう心がけています。(3階病棟看護師 河野 博子)



病棟のようす



眼科診察室

チームワーク抜群!

3階病棟の看護師は、26名配属されており、医師はもちろん、薬剤師や管理栄養士、MSW（医療ソーシャルワーカー）等、他部署との良い連携がとれています。看護師は、平均年齢35歳と若く、活気のあるスタッフばかりです。院内保育所が充実していて働きやすく、恵まれた環境が備わっており、ママさん看護師も多く、チームワークは抜群です。

49床に対し看護師1日勤12人以上、夜勤3人以上のスタッフでより良い、充実した看護が提供できるよう一丸となり

取り組んでいます。個々ではスキルアップと自己啓発のため、積極的に研修に参加したり月1回の勉強会も実施しています。また、緊急時のシミュレーション、勉強会などで知識・技術の習得に励んでいます。より安全に看護を行えるように看護研究や業務改善や、毎日のカンファレンスなども行い、常に新しい事を取り入れ、チャレンジしています。

入院された患者様から、あさぎり病院に入院して良かったというお礼の声をいただいています。今後も患者様に寄り

添い、引き続き喜んでいただけるよう努めていきたいと思っています。



3階病棟ナースステーション

第17回 夢祭り ～地域交流イベント～

今年もあさぎり病院地域交流イベント「夢祭り」の開催時期を迎えました。平成21年は、地域交流に重点をおき、地域の皆さまに参加していただけるボウリング大会を企画しました。また、最終日には、今年8月にオープンした「あさぎりこどもクリニック」の2Fホール(ドリーム・ドーム)での親子ヨガやコンサート、健康教室など、ご家族で参加して楽しめるプログラムを予定しています。病院スタッフ一同、地域の方々と触れ合えるこの機会を楽しみに準備してまいりました。皆さまと会えるのを楽しみにしております。



昨年の癒しのコンサート

第17回「夢祭り」日程表 平成21年11月4日(水)～7日(土)

11/4 (水)	11/5 (木)	11/6 (金)
<p>●健康相談 あさぎり病院1F 10:00～12:30【看護部】健康相談 15:00～17:00【看護部】健康相談 14:30～16:00【地域連携室】介護・福祉相談</p> <p>●フロアコンサート あさぎり病院1F 13:00～13:30 大正琴演奏 福本裕美さん</p>	<p>●健康相談 あさぎり病院1F 10:00～11:30【薬務課】お薬相談 11:30～13:00【栄養課】栄養相談</p> <p>●フロアコンサート あさぎり病院1F 13:00～13:30 ハワイアンバンド「ラニカイルパズ」</p> <p>●ボウリング大会 明石フタバボウル 19:00～21:00 【申込締切】10/23(金)正午 ※参加費1,000円</p>	<p>●健康相談 あさぎり病院1F 10:00～12:30【看護部】健康相談 10:00～11:30【薬務課】お薬相談 11:30～13:00【栄養課】栄養相談 14:30～16:00【地域連携室】介護・福祉相談</p> <p>●フロアコンサート あさぎり病院1F 13:00～13:30 フルトコンサート 本庄ちひろさん</p>
11/7 (土)	<p>●健康相談 あさぎりこどもクリニック1F 13:00～14:00【こどもクリニック】子どもの健康相談 13:00～15:00【保育士】子育て相談</p> <p>●体験健診 あさぎり病院1F 10:00～12:00【眼科】緑内障検診 10:00～13:00【放射線】骨密度測定【限定28名】 10:00～13:00【検査室】CAVI[®]【限定15名】 【申込】11/7(土)9:30～整理券配布 ※CAVI(心臓足首血管指数):血管の老化度を調べる検査 【注意】検査終了後に結果はお伝えしますが、直接診察を受けていただくことはできません。異常が認められましたら後日、当院あるいは他の施設で受診してください。</p> <p>●体験ヨガ教室 ドリーム・ドーム(あさぎりこどもクリニック2F) 10:00～ 親子ヨガ教室【限定10組20名】 11:00～ 体験ヨガ教室【限定20名】 【申込締切】10/23(金)正午 ※参加費無料</p>	
<p>●健康教室 ドリーム・ドーム(あさぎりこどもクリニック2F) 14:00～15:30 ー「いつまでも若くいたい・・・」アンチエイジングを考えるー 【眼 科】「ばっちりおめめで若々しく～眼瞼下垂手術について～」 森井 香織(眼科医長) 【産婦人科】「若く、美しく～最新のホルモン補充療法～」 野原 当(院長/産婦人科医師) 【内 科】「あの日に返りたい～血管の若返り～」 三好 喬(参与/総合診療科医師) ※H21年8月開院「あさぎりこどもクリニック」の紹介 吉形 真由美(あさぎりこどもクリニック院長)</p> <p>●音楽の集い ドリーム・ドーム(あさぎりこどもクリニック2F) 16:00～17:00 スタッフによる癒しのコンサートです！ 曲名：花、荒城の月、セレナーデ ※スケジュールは変更することがございます。ご了承ください。</p>		

各イベントの問合せ・申込みは、あさぎり病院 総務課まで TEL078-912-7575

イベント案内

- 妊娠期の食事を味わう会(要予約)
日時 11/24(火)、12/22(火)
12:30～14:45
場所 2階多目的ホール(食堂)
参加費 1,050円
内容 食事を味わいながら、妊娠期の食生活のポイントを紹介
- マタニティビクス・ヨガ(要予約)
日時 ヨガ/毎週火曜
13:30～14:30

- ビクス/毎週木曜
13:30～14:30
場所 「あさぎりこどもクリニック」
2Fホール
参加費 1,000円
内容 プロのインストラクターによる妊娠期のエクササイズ指導
- 母親教室(要予約)
日時 毎週水曜
14:00～16:00
場所 第1水曜「あさぎりこどもクリニック」2Fホール

- 第2・3・4水曜「あさぎり病院」2F多目的ホール(食堂)
参加費 無料
内容 医師による当院でのお産についての説明や病棟案内
- のほほんママの会(要予約)
日時 11/13(金)、12/11(金)
14:00～15:30
場所 2F多目的ホール(食堂)
参加費 無料
内容 当院で出産されたお母さま・お子さまの同窓会